

# 硬式少年野球・アジア太平洋選手権

## 宮崎市で初開催

世界最大規模の硬式少年野球リーグ・ポニーベースボールのアジア太平洋地域選手権ブロンコの部(11、12歳)が、7月に宮崎市清武町のSOKKENスタジアムで開催されることが決まった。同リーグが13日、発表した。本県での開催は初めて。米国での世界大会の出場権を目指して10カ国が参加を表明しており、選手や役員、保護者など400人の来県が見込まれる。



### 7月 10カ国から400人

同日は、宮崎市のシーガイアコンベンションセンターにアジア20カ国の代表者ら33人が集まり、アジア太平洋地域の2018年度の活動方針を決める会議を開催。同地域のロッド・ティンクソン理事長が「台風心配はあるが、子どもたちが野球をするには素晴らしい環境」など宮崎市について紹介し、同選手権ブロンコの部を7月2、6日に同市で開くことを提案、了承された。同選手権の日本開催は3年連続。

各国の代表者から「試合だけにとどまらず、文化交流になる」「違った国の人と話ができ、レベルアップにつながる」などと参加を表明する声が上がった。

会議後に会見したティンクソン理事長が「球場に加え子どもたちが宿泊する施設が整って素晴らしい」などと選定理由を強調。同席したポニーベースボール・ソフトボール米国本部協会のアブラハム・

ポニーベースボールのアジア太平洋地域選手権の本県開催について語るキー会長(中央)とロッド理事長(左) 13日午後、宮崎市・シーガイアコンベンションセンター

キー会長は「県知事らを表敬訪問したが、野球に対する情熱を感じた」と大会成功へ期待を寄せた。

ポニーベースボールは少年野球の団体として1951(昭和26)年に米国ペンシルベニア州で発足。現在は世界40カ国が加盟している。日本には約260チームが登録しているが、本県にはない。

(南村知宏)

### 7月宮崎でアジア太平洋選手権

ポニーリーグ世界一決定戦出場権争う

世界最大規模の硬式少年野球リーグ「ポニーリーグ」の運営団体が13日、宮崎市で会議を開き、8月に米国で開催する世界一決定戦への出場を懸けた「アジア太平洋地域選手権大会」を同市で実施することを決めた。十数チームが出場する。宮崎開催は初めて。

ポニーリーグは世界40カ国・地域で約60万人がプレー。年齢別にブロン

コの部(11、12歳)、ポニーの部(13、14歳)など8部に分けられ、日本は2013年度に世界一になった。

宮崎市では7月2～6日にブロンコの部が開催される。アジア太平洋地域のロッド・ティンクソン事務局長は「宮崎はグラウンドと宿泊施設が整っている。子どもたちにもいい経験になり、開地に選んだ」と話した。

(河野賢治)